

自治体名	高岡地区広域圏事務組合		自治体コード: 169005	
事業名	広域婚活支援事業	対象経費支出 予定額 ※(注)1	2,650,000 円	
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日			
地域の実情と課題(これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2	<p>高岡地区広域圏(高岡市、氷見市、小矢部市で構成)では、年少者の人口減少が続いており、その要因として、20代後半から30代の未婚率の高さが挙げられる。(平成27年国勢調査によると、広域圏の20代後半から30代の未婚率は、富山県と比較し、2%程度高い結果であった。)</p> <p>高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもその家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後も二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。</p> <p>また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の成果になってきているが、事業が継続されるにつれて、サポート対象である登録者の数が伸び悩み、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。</p> <p>そのため、企業・団体単位での登録などの対策を検討する近隣自治体が増えている。</p>			
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3	<p>当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。その中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」「隣接市との連携」に言及している状況にある。</p> <p>圏域内の婚活支援の取り組みについては、市によって取り組み状況が異なっているところであり、当組合が構成市の事業を補完し、連携することで、マッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。</p> <p>加えて、平成26年度から「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携協調をとりながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。</p>			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内縁結びボランティアの活動による成婚数: 累計50組(令和3年)(令和元年6組) ・セミナーやイベント実施後の参加者アンケート: 「満足」の回答が80%(令和3年)(令和元年85%) 			
参考指標 ※(注)5	直近の実績		備考(統計時点等)	
	合計特殊出生率	高岡市1.49、氷見市1.39、小矢部市1.38	平成30年(小矢部市は平成20~24年)	
	婚姻件数	高岡市699件、氷見市139件、小矢部市102件	平成30年	
	婚姻率	高岡市4.2、氷見市3.1、小矢部市3.5	平成30年	
事業内容	1 重点支援事業		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	2 優良事例の横展開支援事業		対象経費 支出予定額	2,650,000 円
	(1) 結婚に対する取組		対象経費 支出予定額	2,650,000 円
	個別事業名	広域婚活支援事業(縁結びボランティアによる婚活支援)	対象経費 支出予定額	1,417,000 円
	個別事業名	広域婚活支援事業(出会いのきっかけづくりの実施)	対象経費 支出予定額	1,233,000 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
3 結婚新生活支援事業		対象経費 支出予定額	円	
個別事業名				
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無 ※(注)6	無			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、自治体の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和3年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率等を記載するとともに、必要に応じて、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。(「無」が前提となります)

7 適宜参考となる資料を添付すること。

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高岡地区広域圏事務組合 (都道府県: 富山県)
 本事業の担当部局名 総務課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2.1.2 各地域において結婚支援を行うボランティア等(マリッジサポーター等)の育成、組織化、交流体制の構築等により、各地域で結婚を希望する者が適時適切に相談できるような体制の整備や、新たなマッチングを実現するための取組		
個別事業名	広域婚活支援事業(縁結びボランティアによる婚活支援)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,417,000 円		
各区分における取組の全体像及びその中で本個別事業の位置付け ※(注)2	高岡地区広域圏事務組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いのきっかけづくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、①に位置づけられる。		

個別事業の内容	(個別事業の内容) ※(注)3		
	<p>広域婚活支援事業では、縁結びボランティアによる婚活支援に重点をおき、ボランティアの活動を支援することでマッチングや引き合わせの増加、そして成婚カップルの誕生を目指している。ボランティアの情報交換の場となる定例会の開催、また活動経費の助成(一部負担)を行うことでボランティアの負担軽減を図っている。</p> <p>ボランティアの育成については、初任者からベテランボランティアに至るまで、各段階に応じた研修を実施する。あわせて、イベントやセミナーにボランティアが関わることで、現代の婚活の現状を把握やスキルアップを図る。</p> <p>この事業は、構成市とともに取り組むことでより広域の特性を生かせるものであり、3市ボランティア合同交流会を開催するなど、市域を超えた交流の場をより多く創出している。</p> <p>課題としては、縁結びボランティアを辞退される方が増加していることがあげられる。要因として、サポート登録者の婚活支援を実施しても結果に結びつかず、精神的な負担があることが挙げられる。精神的な負担を抱え込まないよう、意見交換の場を設け、ボランティアの定着に取り組む。また、ボランティアの増加を図るため、組合広報やホームページによる募集だけでなく、構成市の広報等も活用する。</p>		
	<p>○縁結びボランティアによる婚活支援・・・3市ボランティア対象</p> <p>(1)ボランティア養成講座:年2回実施.....166千円 スキルアップ研修の内容については、ボランティアの意見を取り入れ実施する。</p> <p>①縁結びボランティアスキルアップ研修(9月頃実施) 参加目標人数 30名・達成率100% 【委託料:110千円】 講師謝金 100,000円×1名×1.1=110,000円</p> <p>②縁結びボランティア初任者研修(3月頃実施) 参加目標人数 20名・達成率100% 【委託料:55千円】 講師謝金 50,000円×1名×1.1=55,000円</p> <p>(2)ボランティア及びサポート登録者の交流会 事業廃止</p> <p>(3)ボランティア活動助成(面会の際にかかる交通費、通信費等).....700千円 ボランティア活動助成金として、圏域内構成3市の婚活支援活動ボランティア団体に助成 ・1人あたり定例会(年間12回開催予定)交通費等5,000円 ・対象者との面談又は引合せ1回につき1,000円 @5,000円×80人+1,000円×300回=700,000円</p> <p>(4)企業・団体へのボランティア事業周知(休止)</p> <p>(5)役務費195千円 ボランティア保険 @1,000円×80人=80,000円 郵便料(定例会通知、イベント案内等)115,000円</p> <p>(6)需用費322千円 消耗品 ボランティア名刺・名札、印刷代、定例会資料作成費用 A4用紙・台紙代 52,000円×1.1=57,200円 印刷 @2.4円×10,000枚×1.1=26,400円 @20円×10,800枚×1.1=237,600円</p> <p>(7)賃借料 定例会会場借料34千円</p>		

【来年度以降に向けた事業の方向性】

ボランティアの辞退が多く、残ったボランティアの負担が増加していることから、辞退理由等を分析し、負担軽減やボランティアの確保を図る。

【事業実施にあたっての留意点】

本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。
事業内容の変更があるときは、事前に内閣府に相談する。

		KPI項目	単位	目標値	現状値	
個別事業の内容	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	○ボランティア養成講座				
		・参加目標人数: スキルアップ研修	人	30		
		・参加目標人数: 初級研修	人	20		
		・参加後のアンケート「研修が今後の活動に役立つ」の回答割合	%	75		
		・ボランティアの支援を受けたサポート登録者の満足度(アンケート)	%	70		
		○ボランティア活動助成				
		・広域縁結びボランティアの新規登録数	人	10	R2.12末時点: 全体19人	
		・広域縁結びボランティア事業サポート登録者数	人	90	R2.12末時点: 74人	
		・サポート登録者数に対する引き合わせ成立者数の割合	%	70	R2.12末時点: 45%	
		・他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	当組合では婚活支援利用者にとやまマリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいてそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、組合の情報も積極的に提供していく。			
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)6	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA、保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を県内の一般企業や団体にも依頼し、イベント実施への協力については各市の商工会議所との連携も検討する。					
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 高岡市男女平等・共同参画課 (配慮すること) 事業内容全般にわたり、特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりしないこと、多様な生き方があることも尊重するように留意する。					
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input checked="" type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) 研修、イベント等 (随契の理由) 自治体の婚活事業を多く手掛け、ノウハウや実績を考慮したうえで、事業を実施できる唯一の事業所であるため。					
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (取組名:) 有の場合の担当部局:					

(注)

- 1「対象経費支予算額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支予算額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。
- 3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。
※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 5「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。
- 7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
- 8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
- 9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名 高岡地区広域圏事務組合 (都道府県: 富山県)
 本事業の担当部局名 総務課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2.1.3 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	広域婚活支援事業(出会いのきっかけづくりの実施)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,233,000 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	高岡地区広域圏事務組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いのきっかけづくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、③に位置づけられる。		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p><現状と課題> この事業は、結婚に関するセミナーやイベントを開催し、結婚を希望する男女に対し、ブラッシュアップや出会いの機会づくりを行うものである。</p> <p>イベント開催における現状の課題として、一つ目に、イベント集客において、女性申込者が少ないことがあげられる。R2年度実施のイベントでは男性女性とも定員に達したものの、当初、女性の申込が少なく、定員に達しない状況であった。二つ目に、イベント中、参加者自身が話すきっかけを作れないことや、会話が続かないといった課題がある。R2年度実施のイベントにおいて、ボランティアが会話のサポートをしている際は、参加者同士話ができるものの、当人同士に会話を任せただけで、会話が途切れる場面が多く見られた。</p> <p><課題への対応> イベントの集客の課題の対応については、従前のマスメディアを使った告知だけでなく、イベント申込者の同意を得て、次回イベント案内を直接連絡先(メールアドレス等)に案内できるようにする。</p> <p>参加者が話すきっかけを作れないこと等の課題の対応については、R2年度実施のイベント後のアンケートにおいて、今後受講してみたいセミナーとして「会話のコツ」、「自己PR力の向上」が挙がっていたため、当該内容を含む事前セミナーを実施する。また、参加者が話すきっかけを作れるようイベント時に参加者の情報を把握するための「プロフィール」を詳細な内容とし、それを利用し、会話の促進を図る。</p> <p>1. 婚活セミナー付きイベント(参加目標人数52名(男女各13名×2回) 達成率100%) 結婚を希望する独身の男女を対象に事前セミナー付出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、参加者への会話やマッチング後のフォロー等を行う。事前セミナーは「会話のコツ」、「自己アピールの向上」について実施する。</p> <p>【委託料:689千円】(歳出) 宣伝広告費 チラシ製作費 @45円×1,000部×1.1=49,500円 広告費 170,000円×1.1=187,000円 チラシ・広告デザイン費 50,000円×1.1=55,000円 ※チラシ1000部配布先→構成3市各100部、ボランティア70名:各10部 ※他、イベント告知を組合HP、とやまマリッジサポートセンターHPに掲載 0円 イベント管理運営費 運営スタッフ @10,000円×4.5人×1.1=49,500円 セミナー費(謝礼) 45,000円×1.1=49,500円 司会 60,000円×1.1=66,000円 消耗品費 45,000円×1.1=49,500円 コロナ対策費 37,000円×1.1=40,700円 一般管理費 25,000円×1.1=27,500円 飲食費 2,000円×52人×1.1=114,400円 ※飲食費には参加費を充当する。過充当分は交付金対象経費へ充当する。 ※飲食費に酒類は含まない。</p> <p>[参加費:130千円](歳入) 男性3,000円×26人=78,000円 女性2,000円×26人=52,000円</p>		

別
事
業
の
内
容

2. 交流イベント（参加目標人数52名（男女各13名×2回）達成率100%）
結婚を希望する独身の男女を対象に出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、イベント中の参加者への会話やマッチング後のフォロー等を行う。また、参加者へ縁結びボランティア事業への登録促進を図る。R2年度は参加者の目線に近い縁結びボランティアの意見を取り入れ、参加者の年齢が近くなるよう対象範囲を設けたところ、参加者から「年齢設定がちょうどよい」との意見があったため、R3年度においても継続して実施する。また、参加者がイベントで多くマッチングするよう、参加者目線に近い縁結びボランティアから新たな意見を取り入れる

【委託料：639千円】（歳出）

宣伝広告費

チラシ製作費 @45円×1,000部×1.1=49,500円

広告費 170,000円×1.1=187,000円

チラシ・広告デザイン費 50,000円×1.1=55,000円

※他、イベント告知を組合HP、とやまマリッジサポートセンターHPに掲載 0円

イベント管理運営費

運営スタッフ @10,000円×4.5人×1.1=49,500円

司会 60,000円×1.1=66,000円

消耗品費 45,000円×1.1=49,500円

コロナ対策費 37,000円×1.1=40,700円

一般管理費 25,000円×1.1=27,500円

飲食費 2,000円×52人×1.1=114,400円 ※飲食費には参加費を充当する。過充当分は交付金対象経費へ充当する。
※飲食費に酒類は含まない。

【参加費：130千円】（歳入）

男性3,000円×26人=78,000円

女性2,000円×26人=52,000円

3. 男性向け魅力アップセミナー（参加予定人数 男性20人）

縁結びボランティア事業の男性登録者の婚活の状況から、長年活動しているが「お付き合いに至らない」、「イベントでは異性から全く選ばれない」が多く見受けられることから、婚活するうえで必要な考え方やスキル等を学び、婚活に生かしてもらうことを目的とした魅力アップセミナーを実施する。縁結びボランティアも参加し、支援に必要な知識の習得及び参加者のフォローアップ等を実施する。

【委託料：165千円】

（婚活に必要な考え方習得セミナー）

講師謝金 50,000円×1名×1.1=55,000円

（婚活スキルアップセミナー）

講師謝金 100,000円×1名×1.1=110,000円

【次年度以降に向けた事業の方向性】

・結婚を望む独身男女が申込しやすいう、集客方法やイベント内容を工夫する。

【事業実施にあたっての留意点】

・本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

・事業内容に変更があるときは、事前に内閣府に相談することとする。

個
別
事
業
の
内
容

	KPI項目	単位	目標値	現状値
・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	○婚活セミナー付きイベント			
	・(セミナー)参加目標人数(達成率100%)	人	52	
	・(イベント)参加目標人数(達成率100%)	人	52	
	・参加者アンケート:「結婚に対する活動に前向きになった」の回答割合	%	70	
	・参加者アンケート:「イベントの参加を友人にも薦めたいと思った」の回答割合	%	70	
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	
	・ボランティアアンケート:「本日のイベントで実践的に活動できたと思う」の回答割合	%	70	
	○交流イベント			
	・参加目標人数(達成率100%)	人	52	
	・参加後のアンケート:「結婚に対する活動に前向きになった」の回答割合	%	70	
	・参加後のアンケート:「イベントの参加を友人にも薦めたいと思った」の回答割合	%	70	
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	
	・ボランティアアンケート:「本日のイベントで実践的に活動できたと思う」の回答割合	%	70	
○男性魅力アップセミナー				
・参加目標人数(達成率80%)	人	16		
・参加者アンケート:「今後の婚活に役立つ」の回答割合	%	80		
・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10		
・ボランティアアンケート:「今後の活動に役立つ」の回答割合	%	70		
・他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	当組合では婚活支援利用者にとやまマリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいてそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、組合の情報も積極的に提供していく。			
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)6	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA、保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を県内の一般企業や団体にも依頼し、イベント実施への協力については各市の商工会議所との連携も検討する。			

<p>・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) (配慮すること)</p>
<p>・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 (以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無</p> <p><input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input checked="" type="checkbox"/> ②競争入札方式</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) 婚活イベント・研修等 (随契の理由) 自治体の婚活事業を多く手掛け、ノウハウや実績を考慮したうえで、事業を実施できる唯一の事業所であるため。</p>
<p>・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。</p> <p>該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>取組名: _____</p> <p>有の場合の担当部局: _____</p>

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。

3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

5「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。